

**新規科目**

**化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)**

**前期**

科目No.	405	科目名	リスク学特論1	サブネーム	「金融とリスク」～持続可能な経済社会の発展を如何に支えるか～		
連携機関名	三菱UFJ信託銀行	レベル	基礎	講義枠	火曜日	講義時間	18:30～20:00
科目概要	「持続可能な発展」を実現するためには、GDP・企業業績といった経済成長の追及のみならず、近年、深刻さが増している化学物質、地球温暖化といった環境・安全問題や、少子高齢化をはじめとした社会問題、企業不祥事などの企業統治上の問題にも真摯に取り組み、「持続可能な発展」を担う個々の主体が、それぞれの社会的責任を果たしていく必要がある。本講座では、経済活動全般を支える「金融」の視点から、「金融」活動が経済社会に及ぼす影響とリスクについて解説すると共に、国連の責任投資原則の採択などを踏まえ、「持続可能な経済社会の発展」に向けた「金融」の役割について考える。						

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
金融概論	1	金融の役割とリスク	金融が経済社会に及ぼす影響の大きさを概観し、その役割の重要性とリスクについて解説する。併せて、本講座の概要と事例研究を中心とした全体の流れに関するガイダンスを行う。	4月17日	共通講義棟 1号館 301教室	名淵 一茂	三菱UFJ信託銀行 経営企画部CSR室
	2	グローバルな金融の潮流	世界経済のグローバル化が進展する中、世界の金融の潮流について触れ、地球環境の課題に対する海外金融の事例研究を中心に講義を進め、金融と経済社会との現状について理解を深める。	4月24日			
金融リスクと企業統治	3	日本における企業統治の具体的な展開と効果	企業の不祥事が絶えない中、企業統治に対する関心が高まっている。企業統治を強化する施策の1つである株主議決権行使の日本の現状に着目し、株主議決権行使の強化と企業価値の毀損リスクの関係について考える。	5月8日		山田 博之	三菱UFJ信託銀行 株式運用部 議決権行使グループ
	4	金融機能の多様化に対応するコンプライアンス	金融機能の多様化と情報化社会の進展によって、法規制の改定(金融商品取引法)や新たな法律(個人情報保護法)が制定されるなど、金融を取り巻く環境は時代と共に変化している。事例を交えながら、金融におけるコンプライアンスの現状と今後の課題について解説する。	5月15日		福井 修	三菱UFJ信託銀行 コンプライアンス統括部
	5	企業統治と内部統制によるリスク管理の強化	金融が持続可能な経済社会の発展に及ぼす影響の大きさを鑑みながら、SOX404への取組み状況を題材にして、金融における企業統治と内部統制の重要性について解説する。	5月22日		中野 綾子	三菱UFJ信託銀行 経営管理部 財務報告統制グループ
金融機能と環境リスク	6	排出権取引の現状と地球環境リスクへの効用	近年、地球温暖化防止策の1つとして、二酸化炭素の削減に向けた排出権取引が注目されている。その現状を解説すると共に、排出権取引の環境リスクへの効果と課題について整理する。	5月29日		平 康一	三菱UFJ信託銀行 フロンティア戦略企画部
	7	環境改善に資するファイナンスの今後の可能性	新たな金融手法である震災時発動型ファイナンスやクリーンエネルギー・リサイクルビジネス等の分野に対するファイナンスにおいて期待される金融機関の役割と今後の可能性について考える。	6月5日		伊東 猛	三菱UFJ信託銀行 法人企画推進部 ビジネスソリューションG
	8	土壌汚染による環境リスクと金融の役割	化学物質による土壌汚染の事例研究を中心に、土壌汚染による環境への影響や環境リスクを軽減していくための対策、金融機関への社会的要請などについて言及する。	6月12日		森島 義博	三菱UFJ信託銀行 不動産コンサルティング部
	9	環境保全信託の仕組みと効用	金融機能を活用した環境への取り組みの1つである環境保全信託の現状と、その仕組みや効用について解説する。今後の環境保全信託の可能性についても考える。	6月19日		本多 祥展	三菱UFJ信託銀行 リテール企画部 戦略グループ
金融を活用した社会への貢献	10	知的財産信託の仕組みと今後の可能性	2004年12月の信託業法改正により取り扱いが可能となった知的財産信託の仕組みと金融機関が社会的貢献を果たしていく上での知的財産信託の活用方法や、メリット、課題などについても解説する。	6月26日		田中 紳司	三菱UFJ信託銀行 フロンティア戦略企画部
	11	人事制度と企業年金を通じた高齢化社会への対応	少子高齢化が進む中、人事制度や企業年金の仕組みについて改めて再考し、持続可能な社会の構築に向けた人事制度のあり方と、高齢化社会における年金の役割について考える。	7月3日		神山 紀子	三菱UFJ信託銀行 年金コンサルティング部 リサーチグループ
	12	従業員が経営へ参画するための新たなアプローチ	海外の事例を交え、経済社会を担う従業員の労働に対する志気を高めていくための金融の役割について紹介するとともに、その機能の活用方法と可能性について解説する。	7月10日		星 治	三菱UFJ信託銀行 受託財産企画部 証券業務室
持続可能な発展に向けた金融の展開	13	SRIの世界動向	真金の流れが間接金融から直接金融にシフトする中、近年、年金基金を中心とした運用機能への注目が高まっている。国連、政府当局、経済団体などにおける取り組みを概観すると共に、環境・社会・企業統治上の問題を考慮した運用であるSRIと受託者責任について検討を加える。	7月17日		代田 秀雄	三菱UFJ信託銀行 投資企画部
	14	SRIファンドの潮流	企業の財務面に加え、非財務面も考慮した運用であるSRIの潮流について解説する。環境、社会、企業統治の問題が運用パフォーマンスに影響を及ぼすという見方が強まる中、持続可能な経済社会の成長に寄与するSRIのあるべき方向性について論じる。	7月24日		加藤 正裕	三菱UFJ信託銀行 投資企画部 業務戦略グループ
	15	日本における個人向けSRI投資の動向	日本の個人金融資産は1,500兆円を超える。日本の個人向けSRI投資市場の現状について整理し、個人金融資産の流れを持続可能な発展に配慮されたものに変えていくために必要となる施策について考える。	7月31日		小澤 公	三菱UFJ信託銀行 リテール営業推進部

2007/3/23 教室の決定。 2007/4/6 講義日6/5の講師変更。 2007/6/1 講義日6/5の講師変更。